

科目名	経営分析 A Business Analysis A						
科目担当者	出山 実 IDEYAMA Minoru						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	財務諸表を読み解く力は、ビジネスパーソンに求められる基礎能力の 1 つです。例えば、取引先の財務諸表が読めなければ、経営上の意思決定に支障をきたす場合があります。ビジネスパーソンであれば、複式簿記の構造が分からなくとも、そこに書かれている数字の意味を理解できなければなりません。本講義では、財務諸表をいかに利用するかという観点からビジネスシーンに必要な会計リテラシーを向上させるところにあります。講義の進め方は、テキストに基づいて前半は講義（新聞等の時事テーマも扱います）、後半は演習問題と解答解説を行います。						
授業の到達目標	①財務諸表を理解するための会計基準、また財務諸表を分析するための手法を理解する。 ②経営分析を通じて、企業の財政状態および経営成績を適切に認識できるようになる。 (本講義終了時に、ビジネス会計検定 2 級合格レベルになることを目標とします。)						
授業計画・内容	1	オリエンテーション：経営分析とは何か					
	2	財務諸表の基礎<1> 連結財務諸表の読み方					
	3	財務諸表の基礎<2> 貸借対照表の理解を深める					
	4	財務諸表の基礎<3> 損益計算書の理解を深める					
	5	財務諸表の基礎<4> 株主資本等変動計算書の理解を深める					
	6	財務諸表の基礎<5> キャッシュフロー計算書の理解を深める①					
	7	財務諸表の基礎<6> キャッシュフロー計算書の理解を深める②					
	8	財務諸表分析<1> 基本分析					
	9	財務諸表分析<2> 安全性分析					
	10	財務諸表分析<3> 収益性分析					
	11	財務諸表分析<4> キャッシュフロー分析					
	12	財務諸表分析<5> 連単倍率と損益分岐点					
	13	財務諸表分析<6> 1 株当たり分析と 1 人当たり分析					
	14	財務諸表分析<7> 持続可能性評価					
	15	学生によるプレゼンテーション					
授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を読んでくること (1.5 時間)						
授業外学修 (事後学修)	講義で扱ったテーマに関する練習問題を解いてくること (2.5 時間)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	①課題の提出 ②期末レポート				30% 70%	①② ①②	
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	『ビジネス会計検定試験 公式テキスト 2 級<第 6 版>』大阪商工会議所 (中央経済社)						
参考文献							
その他	<どのような学生の受講が望ましいか> ・会計の分野に興味がある学生 ・将来、経理・財務担当者になりたい、また金融機関や調査会社に勤めたい学生 <あらかじめ受講して欲しい科目> 会計学、簿記論 (or 上級簿記) <併行して受講して欲しい科目> 財務諸表論、管理会計論、原価計算論、初級ビジネスゲーム						